



イクコママの乳がん日記 ⑫

毎日を大切に過ごす

リコちゃん（5つ）とゴー君（2つ）の子育て中の2013年1月に右胸のしこりが乳がんとして診断されたイクコさん（42）。「後悔のない治療」を目標に乳がんの勉強をし、主治医に疑問を一つ一つ質問しまし

た。治療は、「抗がん剤」「手術」「放射線」「点滴」と、家族の協力を得ながら順調に進めることができました。今後の目標は、毎日を大切に過ごすことです。（おわり）

① 乳がんの治療も残すはハーセプチン（点滴）を8カ月するのみ！

特に大きな副作用はなく進みました。



② ところが ある日の頭痛。不安で病院へ。



検査の結果、転移ではありませんでしたがこれからもこの不安が続きます。

③ ウィッグは抗がん剤開始から約1年3カ月後に卒業。



リコの母の日の似顔絵がウィッグではないマコの方だったので思い切って。

④ そしてハーセプチンが終わり、私の乳がん治療は約1年半で終了しました。



⑤ 病院にいと見守られているような安心感が。でも、また「何かみつかつたらどうしよう」という不安も。フクザツ...



⑥ それでも子育てでドタバタな毎日だから恐怖布を忘れられる。不安と向きあいながら1日1日を楽しむしかない。



今を感謝して過ごしていこう！
読んでくださった皆さまありがとうございました。

周囲の助けに感謝

2014年7月

ハーセプチン最後の日。私の乳がん治療が終わる。看護師さんが「よく頑張りましたね」と。今後は定期検査。病院にいと見守られてる感じがするのでちょっと不安。

正直、今からでも「誤診でした」と先生に言ってもらえると助かるんだけど...

「ちっちゃい子どもたちがいるのに、乳がんになってどうしよう」とショックだったけど、子どもたちが小さいからこそドタバタしてがん

の恐怖を忘れられる。乳がんになっていろいろ考えたことは、とてもプラスになりました。普通であることのありがたさを知りました。周りの方々の助けにはほんとに感謝しています。病気になるって一言「感謝」だね！

とりあえず目標の「後悔のない治療」に近いところまでできたつもり。あとは毎日を大切に過ごしたい。今の目標は子どもたちに丁寧に接したいかな。私はリコとゴー君のママになれて本当によかった。ずっと先の目標は、リコとゴー君のサポート。ママ頑張るよ！

普通的生活楽しんで

治療を終えた患者さんが特に気をつけることはなく、普通の生活をエンジョイしてほしいですね。就労や妊娠・出産を含めたQOL（生活の質）の部分では、私たち医療従事者も含めてサポートする必要があると思います。

定期検診は、日本乳癌（がん）学会のガイドライン上も規定はありません。当院では6カ月に一度の定期検査を実施しています。再発の不安がある際は、家族や友人、主治医、医療スタッフに相談してください。一人で悩まないことが一番大切だと思います。そして、主治医には何でも聞いてほしいですね。

監修・玉城研太郎医師
（那覇西クリニック 乳腺外科）